

工程別に学ぶ！輸血過誤防止対策

forward

輸血療法において誤登録や取り違いなどによる不適合輸血は、決して起こしてはならない重大事故です。近年、検査工程の自動化やバーコード認証の導入などにより安全性は高まっていますが、依然として人的要因による輸血過誤はなくなっていません。

本特集では、採血・検査・輸血の各工程において輸血過誤を防止するための具体策を、現場での実践例を交えてご紹介いただきます。さらに、万が一輸血過誤が発生した際の患者対応や輸血部門としての対応、そして再発防止のための院内体制整備についてもご解説いただきます。

日々の業務のなかで「ヒューマンエラーをいかに減らすか」を常に意識し、安全な輸血医療の実現を目指すうえでの一助となれば幸いです。

(編集部)

-
1. 総論—安全な輸血への取り組み
 2. 場面別にみる輸血過誤対策
 3. 輸血過誤発生時の対応
 - 1) 患者への対応
 - 2) 輸血部門としての対応
 4. なぜ、輸血過誤を防止できないのか？
-